

## 安全チェックリスト

活動を始める前に、お子さんにとって危険な場所がないか、このチェックリストを使って確認を行いましょう。

1. 火災や地震の際の避難場所を知っていますか。
2. 119番を呼ぶ際に必要となる情報(活動場所の住所、目印となる建物)について把握していますか。
3. 緊急連絡先(依頼会員、センター、かかりつけ医など)を控えていますか。
4. 階段や段差のあるところには、子どもが落ちないような対策がしてありますか。
5. ドアがバタンと閉まらないような対策がしてありますか。
6. たばこ、ライター、薬、化粧品、洗剤、刃物などを子どもの手の届かないところに置いていますか。
7. 硬貨、ピアスなどの小物、あめ玉、ピーナッツなど子どもが飲み込んでしまうようなものは子どもの手の届かないところに置いていますか。
8. ビニール袋やラップなどを子どもの手の届かないところに置いていますか。
9. 熱いお茶、ポット、鍋、アイロンなどを子どもの手の届かないところに置いていますか。
10. 反射式ストーブやファンヒーターなどは、子どもの手が届かないような対策がしてありますか。
11. 浴槽や洗濯機に水を溜めたままにしていませんか。浴室に鍵をかけるなど、子どもが一人では中に入れないような対策がしてありますか。
12. 子どもがベランダや窓から外に飛び出さないように踏み台となるような物を片付けましたか。一人で出ないように鍵をかけましたか。
13. 子どもをベビーベッドなどの高いところに寝かせる場合、転落防止のための対策をとってありますか。
14. 子どもの寝床にぬいぐるみやタオルなど、口や鼻をふさぐ危険があるものを置いていませんか。
15. ブラインドの紐は子どもが首をひっかけてしまわないように、子どもが届かない高さでくくってありますか。

## ファミリー・サポート・センター事業における 事故の発生状況を踏まえた提供会員の留意事項

### (1) 乳児の扱い

うつぶせに寝かせた時の方が、あおむけ寝の場合に比べて SIDS (乳幼児突然死症候群) の発生率が高いことがわかっており、うつぶせ寝が SIDS を引き起こすものではないが、特段の理由がない限りは、乳児の顔が見えるあおむけに寝かせるようにすること。

また、窒息や誤飲、ケガなどの事故を未然に防ぐことになるため、なるべく乳児を一人にしないことや、寝かせ方に対する配慮をすること。

### (2) 子どもの転倒事故

提供会員は、子どもの進路につまづきやすいものや段差がないか注意を払うこと。また、帰宅中は、提供会員と手をつないで帰るなど、転倒させないための工夫をして事故防止に努めること。

さらに、自動車に子ども(6歳未満)を乗車させる場合には、チャイルドシート等の使用が義務付けられているので、必ずチャイルドシートに座らせ、シートベルトをしっかり締めること。

### (3) 遊具等からの落下事故

鉄棒の上を歩く、うんていの上に登る、ブランコから途中で飛び降りるなど遊具の誤った使用方法により事故が発生しているため、提供会員は預かり中の子どもに屋外遊具の正しい利用方法を伝えること。

また、事故は子どもから目を離してしまったわずかな時間に発生することも考えられるため、子どもから目を離さないで、子どもの動きに対応できるように留意すること。

### (4) 自転車による事故

子どもを自転車の後ろに乗せる場合には、チャイルドシートを整備すること。

### (5) 火気の使用時における接触事故

ストーブ等の火気を使用する場合には、子どもが火気に触れることのないようにガードをつけたり、子どもの手の届かないところに配置すること。

## 活動時の留意点

### ●援助できない内容

#### ①家事援助

- ・掃除、洗濯、調理など

#### ①宿泊を伴うサポート

#### ①病児・病後児のサポート

- ・保育施設、幼稚園、学校において感染症による学級・学校閉鎖のための措置でお休みになった場合
- ・病院の受診代行や投薬

#### ①留守宅への送迎

- ・ファミサポの援助活動は、大人から大人へ

#### ①自転車での送迎

- ・子どもを乗せる場合は、6歳未満まで（小学生は不可）
- ・幼児用チャイルドシートの装着
- ・子どもはヘルメットを必ず着用